

## 「神学研修志望」についてのご案内

東京神学大学は、伝道者・牧師の養成を第一の目的とし、そのための神学の研究と教育に励んでいます。

しかし、近年の教会の実情と必要に応じて、「教会の信徒として教会によく仕え、また社会に貢献したい」という志をもつ方も、「神学研修志望」として、神学部神学科に受け入れることになりました。できれば、そのような方々の中から、さらに将来伝道献身を志す方が現れることを願っています。

ここに概要を記載しますので、よくお読みになり、ご自分の「召命」について確認すると共に、教会の牧師先生とも相談のうえ、出願をご検討ください。

東京神学大学 教務課入試係

### Q1：神学研修志望とは何ですか？

**A**：本学は牧師・伝道者の養成を使命としていますが、それに加えて卒業後に信徒として広く教会に仕えることを目指す方に学部の学びを開放するものです。

### Q2：出願の条件はありますか？

**A**：洗礼を受けてから1年以上教会生活を送っていて、教会の推薦を得られる方が出願できます。

### Q3：入学試験に違いはありますか？

**A**：入試科目は伝道献身志望の方の試験との区別はありません。ただし、願書には「神学研修志望」を明示してください。

### Q4：神学研修志望に定員はありますか？

**A**：入学定員・編入学定員は神学部神学科として設けているため、志望ごとの募集定員はありません。神学研修志望者を若干名受け入れます。

### Q5：単位の取得はどうなるのですか？

**A**：伝道献身志望と同様の科目を履修します。学部卒業に必要な単位をすべて履修すれば、「学士（神学）」の学位を取得できます。学習にあたっては、伝道献身志望と何の区別もありません。

#### Q6：学生寮には入れますか？

A：入寮できます。ただし、伝道献身志望者を優先します。また、定員超過等によりお断りする場合があります。なお、学生寮は単身者用ですので、家族寮はありません。

#### Q7：奨学金制度はありますか？

A：神学研修志望者は「指定奨学金」を申請することができます。審査を経て、給付奨学金として支給されます。また希望すれば、「入学時奨学金」と「一般奨学金」にも申請できます。ただし、貸与で支給されます。そのほか、日本学生支援機構の貸与奨学金を申請することもできます。貸与奨学金は、卒業後に返還しなければなりません。

#### Q8：夏期伝道実習はどうなるのですか？

A：学部4年次に出席教会等で何らかの奉仕をしていただき、報告書を提出します。

#### Q9：クラス活動には参加できるのですか？

A：クラス活動のみならず、学校行事にも伝道献身志望者と区別なく参加することができます。

#### Q10：教会生活はどのようにすればよいのですか？

A：出願の際の教会推薦書には、所属教会牧師に「忠実に教会生活を送っていること」を明らかにしてもらいます。入学後は出席教会の牧師の指導を受け、求められた奉仕をします。

#### Q11：伝道献身志望への変更はできますか？

A：できます。変更を希望する場合には、学部3年次終了時まで申し出て、その際にはあらかじめ所属教会牧師に推薦書を提出していただく必要があります。

#### Q12：教職課程を履修できますか？

A：現在、キリスト教学校の聖書科教師は牧師であることを要求されています。教職課程を履修するためには、伝道献身志望であることが基本です。

#### Q13：大学院への進学は可能ですか？

A：神学研修志望者は大学院へ進むことはできません。ただし、学部3年次終了時まで志望変更した場合は、大学院進学を目指すことができます。志望変更後に内部入学試験の要件を満たしたうえで出願し、当該試験に合格した場合は、大学院への進学が可能となります。

#### Q14：卒業後の就職は斡旋してくれるのですか？

A：斡旋はしません。ただし相談に応じ、就職情報を提供することはできます。

#### Q15：卒業後の進路として、どのようなものが考えられますか？

A：卒業後は、教会の伝道に真摯に取り組む人になることが期待されます。また、神学を学んだ者として、幼児教育や社会福祉の分野などで指導力を発揮して働く道もあります。